

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)に答えなさい。(22点)

合唱クラブに所属している小学六年生の真子は、同じ学校の袖原朔と知り合う。朔は美しい声の持ち主だが学校の合唱クラブには所属せず、商店街の有志で活動している「半地下合唱団」で歌っていた。朔に誘われて真子も半地下合唱団に加わり、練習のあとで朔に話しかけた。

「やっぱり、もったいないなって思っちゃう」

歌い終えた朔くんは、真っ先にそう伝えた。

「もったいない？」

「朔くんが合唱クラブにいてくれたらってことじゃなくて、朔くんがこんなにきれいなボーイ・ソプラノを持つてるのに、それを知らない人がいっぱいいるのが、もったいないって思ってる」

「でもさ、俺のソプラノ、もうすぐ消えるんだよ」

わたしの目を見すえたまま、朔くんはつぶやく。

「声変わりがきたら消えるの。小四の秋ぐらいからいきなり背のび始めたし、いつ声変わりがきてもおかしくないんじゃないかな」

男子の声変わりが始まるのって、小学校高学年から中学生にかけてだっけ？

朔くんは背が高いし、まわりの子より早く声変わりするかもしれない。

そうなたらきつと、このボーイ・ソプラノは出せなくなる。

「俺は自分の歌声が好きだ。だから、馬鹿にされたらムカつくから学校では歌わない。嫌な思いをしてまで歌いたくないから、合唱クラブにも入らない。真子ちゃんがどう思おうと、ここで楽しく歌えれば、それでいい」

——それに。

ぼつりとこぼした朔くんが、のどにそつと手をやる。どこまでも広がる澄んだソプラノを響かせる自分ののどを、優しくなでた。

「声変わりがきたらなくなるのに、むなしじゃん。大勢の前で自慢げに歌って『きみの声は素晴らしいね』っていろんな人にほめてもらっても、コンクールで金賞をもらっても、すぐに消えちゃうのにさ。そうなたらきつと、みんな『もったいない』って言うんだ」

「ちがうよ。わたし、そういうつもりで言ったんじゃない……」

「わかってるよ」

鍵盤をもう一度布でふいて、朔くんはピアノの蓋を閉める。

「自分が一番、声が消えるのを『もったいない』って思ってるんだって、わかってる」

朔くんのはじめに会ったときから大人っぽい雰囲気の子だなと

「いっぱい聴いてもらおうよ、夏祭り」

朔くんに向かって身を乗り出し、喉を大きく広げて言った。

「どうせ消えちゃう声だから大勢の人に聴かせたくないって気持ちと、消える前にみんなに聴いてほしいって気持ち、正反対だけど、裏と表でちゃんとながってるんだと思うよ。だから、どっちも持つていいんだよ」

今日、保健室で南先生に言われたこと。さつき亜矢さんに言われたこと。内容はちがうけれど、それぞれの話の欠片が集まって、わたしの中で言葉になる

ああ、そっか。自分の言葉って、こうやって増えていくんだ。友だちを増やすために、出会った言葉の数だけ、わたしの言葉が増えていく。

「だから、夏祭りでいろんな人に朔くんの歌を聴いてもらおうよ。朔くんの寂しさを、いろんな人と共有すればいいんだよ。声変わりがきちゃっても、朔くんのソプラノがきれいだった事実は消えないんだから、みんなに覚えていてもらえばいい」

わたしだけじゃなくて、半地下合唱団のメンバーだけじゃなくて、夏祭りに来た大勢の人に。「もったいない」と思われるかもしれないけど、その裏には「袖原朔のボーイ・ソプラノは素晴らしいかった」という事実が、ま

ちがいに、あるのだから。

「『もったいない』って言葉は、残念って気持ちもあるけど、なくなっちゃったものを愛しいなって思う気持ちの方が、大きいと思うんだ」

額賀澤「ラベンダーとソプラノ」より——

(注1) 優里……合唱クラブでの真子の後輩で、朔の幼なじみ。

(注2) 朔ちゃん……ここでは、朔が自分ををさして言っている。

(注3) バー……朔の父が経営する酒場。昼間は半地下合唱団の練習場となっている。

(注4) 南先生に言われたこと……養護教諭の「南先生」に、人の考え方について「二つの考え方がどこでも正しいなんてこと、滅多にない」と言われた。

(注5) 亜矢さんに言われたこと……「半地下合唱団」のメンバーの一人である「亜矢さん」に、「世の中、いろんな人がいるし、いいんだよ」と言われた。

(1) 言う の尊敬語を書きなさい。

(2) そうじゃなくて とありますが、ある生徒が、このときの「真子」の思っている次のようにまとめました。に入る最も適切な語句を、本文中から十六字でそのまま抜き出して書きなさい。

朔の大人っぽい雰囲気は、自分から望んだものではなく、ものかもしれないと真子は思った。

思っていた。わたしが「ラベンダー色の似合うお姉さん」に憧れたように、朔くんも大人っぽい自分になりたくてそうなったんだと、ほんやり思っていた。

でも、そうじゃなくて。

大事なものがいつか消えてしまふ未来をずっと見つめていたから、ほかの子より一歩前を歩いているような大人びた雰囲気、いつの間にか身にまとってしまったのかもしれない。

「魚住のおっちゃん」が「夏祭り歌おう！」って言ったのに反対しなかったのも、消える前に誰かに聴いてほしいなって思ったのかも。どうせ声変わりがきたら消えるんだから、軽く話してたくせに、いつの間にか、放したくなくなっちゃったんだよな」

「だから、牛乳飲むのやめたの？」

優里「家にいったとき、朔くんは牛乳を飲まなかった。半年前に飲むのをやめたって。」

「あんまり意味なかったけどね。朔ちゃん、カルシウムを摂らなくても発育いいみたいだから。成長期には勝てなかったね」

あははと笑った朔くんが時計を確認し、「もう帰らないと。父さんと母さんに怒られる」と立ち上がった。わたしも、テーブル席におきっぱなしだったランドセルと傘を取りに行く。

「それじゃあ、次の練習でね」

バーの明かりを消し、出入り口にカギをかけた朔くんが、わたしに手を振って、帰っていく。

外はすっかり夜だったけれど、雨は降ってなかった。雨上がり独特の蒸し暑さと、ねっとりとした水たまりの香りが、あたりにただよっている。

朔くんの家は、路地の先。わたしの家は、商店街のメインストリートを抜けた先。ここで別れるのは、ごく自然のことだ。

朔くんの背中が、小さくなっていく。外灯のオレンジ色に照らされたブルーのランドセルは、鮮やかな夕焼け空みたくだった。

「朔くん！」

叫ぶと、朔くんは足を止めて、わたしを見た。次に何を言えはいいのかわからなくて、悪あがきをするように、わたしは朔くんのもとに走った。

水たまりに思い切り足をつっこんでしまっただけで、ふくらはぎのあたりで冷たい水が弾けた。

でも、その冷たさで、目が覚めた気がする。

(3) 悪あがきをするように とありますが、ある生徒が、この表現について次のようにまとめました。に入る適切な内容を、三十字以内で書きなさい。

「悪あがき」とは、「どうにもならない状況なのに、あせってむだな試みをする事」である。ここでは、真子が に入る適切な内容を、三十字以内で表現している。

(4) 「朔」について述べたものとして最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 「朔」が自分ののどを優しくなでたのは、病弱な体の状態を自覚し大切にしようと思ってるからである。
2 「朔」がピアノの鍵盤をもう一度布でふいたのは、うまく歌うために何度でもやり遂げようとするからである。
3 「朔」が「成長期には勝てなかったね」と笑ったのは、「真子」との会話が深刻になりすぎないようにしているからである。
4 「朔」が「朔くん！」と呼ばれて足を止めたのは、相手の正面に立つて礼儀正しく対応しようとするからである。

(5) ある学級で、もったいない、もったいない、もったいない について話し合いをしました。次は、川村さんのグループで話し合っている様子です。に入る適切な内容を、三十五字以内で書きなさい。

川村 真子の「もったいない」は「朔くんのソプラノを知らない人がいる」ということについての言葉だね。
沢井 それに対して「もったいない」は「声が消えて残念だ」という気持ちだと言えるよ。真子もそれがわかっているね。
成田 真子は「と気づいたから、もったいない」について「残念って気持ち」と「愛しいと思う気持ち」の両方をあげているんだね。
川村 さらに、「朔くんのソプラノがきれいだった事実は消えないから覚えていてもらえばいい」と言っているね。
沢井 「愛しいと思う気持ち」の方が大きいと伝えることで、朔を励ましているんだね。

5 次の文章を読んで、あとの(1)～(6)に答えなさい。(26点)

「百聞は一見にしかず」ということわざは、視覚にくらべて聴覚は認識の手段として精度がはるかに [] という意味ですが、そもそも視覚はそれほど精確な認識手段でしょうか。存在の認識にかぎって考えましょう。

「見えるものは信じるが、見えないものは信じない」という主張はよく耳にします。でも、それを存在についての主張と解釈すると、かなり極端な結論がでてしまいます。たとえば、ウイルスは目に見えないので存在しないのならば、一昨日までインフルエンザでみじめな思いをしていたのはウイルスのせいだという説明ができなくなります。

これに対して「肉眼では見えないが、顕微鏡で見える」という反論があるかもしれませんが。つまり「肉眼で見えるか顕微鏡で見えれば存在するが、そうでなければ存在しない」という立場からの反論です。でも、ウサギ座の超新星SN2002bjは肉眼でも顕微鏡でも見えません。だからといって存在しないとせば、天文学者から異論がでるのは必至です。

「肉眼で見えるか顕微鏡で見えるか望遠鏡で見えれば存在するが、そうでなければ存在しない」と修正しても、三種類の視覚モードだけに特定している、さらなる反例をまねく可能性をおおきくおこなっていると言わざるをえません。

では、「肉眼で見えるか、なんらかの科学機器を使って見れば存在するが、そうでなければ存在しない」とすれば、信憑性のたかい一般化になるでしょうか。いや、それでもまだ、その一般化の後半部分「肉眼で見えず科学機器を使っても見えないならば、存在しない」という主張は、視覚を過大評価しているという批判からのがれられないでしょう。たとえ科学機器によって補強されたとしても、視覚による知覚可能性は、存在の必要条件としては強すぎるからです。

3 次の(1)、(2)に答えなさい。(14点)

(1) 次の文章を読んで、あとのア～ウに答えなさい。

【漢文】

梁丘^(注1) 抛^(注2) 謂^(注2) 晏子^(注2) 曰^(注2)、「吾^(注2) 至^(注2) 死^(注2) 不^(注2) 及^(注2) 夫子^(注3) 矣。」晏子^(注4) 曰^(注4)、「嬰^(注4) 聞^(注4) 之^(注4)、為^(注4) 者^(注4) 常^(注4) 成^(注4)、行^(注4) 者^(注4) 常^(注4) 至^(注4)。嬰^(注4) 非^(注4) 有^(注4) 異^(注4) 於^(注4) 人^(注4) 也。常^(注4) 為^(注4) 而^(注4) 不^(注4) 置^(注4)、常^(注4) 行^(注4) 而^(注4) 不^(注4) 休^(注4) 者^(注4)、故^(注4) 難^(注4) 及^(注4) 也。」

——『説苑』より——

【書き下し文】

梁丘抛晏子に謂ひて曰はく、「吾死に至るまで夫子に及ばず」と。

晏子曰はく、「嬰之を聞く、為す者は常に成り、行く者は常に至ると。

嬰人に異なること有るに非ざるなり。常に為して置かず、常に行きて

休まざる者なり。故に及び難きなり。」と。

(注1) 梁丘抛……中国の春秋時代の人。
(注2) 晏子……中国の春秋時代の人。
(注3) 夫子……ここでは、晏子のことを敬って呼んでいる。
(注4) 嬰……晏子の名。ここでは、晏子が自分のことをさして言っている。

たとえば、コンパスの針が南北方向を向くのはなぜかの説明には、地球の磁場に言及する必要がありますが、磁場は肉眼で見えないし、顕微鏡や望遠鏡やその他の科学機器を使っても見えません。

もし「時間は、肉眼でも科学機器を使っても見えないので、存在しない」と主張するひとがいたとすれば、そのひとの主張は、見えないという理由で地球の磁場の存在を否定するひとの主張とおなじくらい受けいれがたいでしょう。

とはいえ、磁場と時間の類比は完璧ではないかもしれませんが。磁場はある意味で「可視化」できるのに対して、時間の同様な「可視化」は不可能だと思われるからです。北極圏や南極圏でオーロラを見て地球の磁場が「見える」と言えたり、うすいプラスチック板の上に乗られた砂が作る模様を見て、板の下におかれた磁石の磁場が「見える」と言えたりするでしょうが、それにくらべて時間については、地球の磁場に反応する太陽風プラズマや、磁石の磁場に反応するプラスチック板上の砂に相当するものが見つかりません。

それでも、「時間は存在しない」と心から信じるひとはきわめて少数派にちがいません。なぜわたしたちは、いかなる意味でも目に見えず可視化できない時間の存在を否定しないのでしょうか。それに答えるために、まず、知覚による検証のみが、ものの存在を信じる理由ではない、ということに気づくことから始めましょう。

ブラックホールはその性質上、知覚できません。宇宙物理学では「直接観測できない」と言ったほうがより正確でしょう。では、なぜ、わたしたちは、宇宙空間の特定の場所にブラックホールが存在すると結論できるのでしょうか。それは、そのブラックホールがそこに存在することを仮定すれば、周辺の宇宙空間内に生起する直接観測できる現象に、最良の説明をあたえられるからです。

一般に、説明を要する現象があつて、特定の仮説をたてればその現象を

ア 謂^(注1) 晏子^(注2) 曰^(注2) に、【書き下し文】を参考にして、返り点をつけなさい。

イ 及^(注3) ば ず の主語として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 梁丘抛 2 晏子 3 為す者 4 行く者

ウ ある生徒が、本文の内容について次のようにまとめました。

[] に入る適切な内容を、十字以内で書きなさい。

晏子は、自分は [] 人物であるから、人は自分にはなかなか及ぶことができない、と考えている。

(2) 次の文章を読んで、あとのア、イに答えなさい。

夏は夜。月のころはさらなり、闇もなほ、螢の多く飛びちかひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。

——『枕草子』より——

ア 飛びちかひたる とありますが、すべてひらがなで現代かなづかいに書き改めなさい。

イ 夜 とありますが、この語について述べたものとして最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 月がよく出る季節はよいが他の季節はよくない。
- 2 暗い闇夜に螢が数多く飛んでいるのはよい。
- 3 空に星が一つ二つかすかに光っているのはよい。
- 4 螢が飛び始める時期に雨などが降るのはよくない。

1 放送による検査 (16点)

【資料】

第一中学校
山田さん
(司会)



第一中学校
吉井さん



東中学校
高橋さん



資料1 代表者会議資料

代表者会議資料

1 日時
4月25日(水) 15:30~16:10

2 目的
各学校で行っている環境保全の活動の内容と今後の見通しを知ること、活動の[]ため。

3 各学校の活動について

- 第一中学校
 - ・内容
 - ・今後の見通し
- 東中学校
 - ・内容
 - ・今後の見通し

資料2 ポスター



説明でき、たてなければその現象の説明ができないか、またはできても質がおとる説明しかできないような状況下では、当の仮説は受けいれるべきだ、という有名な方法的原理があります。「最良の説明への推論」とよばれるこの原理は、科学的探求においてもごくふつうの日常生活においても、意図的または暗黙裡にひろく常用されている方法です。

(注5) クラウディオス・プトレマイオスが生存していた頃は、天動説が当時知られていた天文学的現象の「最良の説明」と見なされていましたが、16世紀以降はニコラウス・コペルニクスによる地動説が「最良の説明」としてひろく提唱され受けいれられています。いかなる説明が「最良の説明」かは時代によってことなるとして当然なので、どの仮説が受けいれるに値するかも、時代によってことなるのは不思議ではありません。

④ 天動説対地動説のような壮大な例とはちがった、もっと日常的な例をあげましょう。火曜日にゆでた卵を、水曜日に食べたからお腹をこわしたとします。なぜお腹をこわしたかの説明として「ゆで卵が腐っていたから」と「ゆで卵を食べるときにウーロン茶を飲みすぎたから」のどちらかを選択しなければならぬとしたら、もちろん「よりよい説明」を選ぶでしょう。どちらが「よりよい説明」かは当の状況にかんする適切な情報——ゆで卵はどこでどのように保存されていたか、ゆで卵をいくつ食べたのか、ゆで卵を食べたほかのひとはお腹をこわしたか、飲んだウーロン茶の量はいくらか、ウーロン茶がはいっていたペットボトルは開封後長時間放置されていたか、等々——に左右されるでしょう。

とにかく、「最良の説明への推論」なしには、科学も日常生活もままならないのは目に見えています。「最良の説明への推論」を追究しないのは、認識主体としての人間にとって不可能だと言っても過言ではありません。

——八木沢敬『ときは、ながれない』より——

2 次の(1)、(2)に答えなさい。(12点)

(1) 次のア〜オの——の漢字の読みがなを書きなさい。また、カ〜コの——のカタカナの部分を書き改めなさい。

- ア 寸暇を惜しんで勉強する。
- イ 美しい峡谷に感動する。
- ウ 収入と支出の均衡を保つ。
- エ 頂上から遠くを眺める。
- オ 私は白い花が殊に好きだ。
- カ クラブに会員としてトウロクする。
- キ ハソソした部分を修理する。
- ク 自転車で本州をジュウダンした。
- ケ スジミチを立てて説明する。
- コ 午前中に用事をスミス。

(2) 次の行書で書いた漢字と同じ部首であるものを、あとの1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。



- 1 初
- 2 祖
- 3 狩
- 4 核

- (注1) SN2002bj……ウサギ座の方向にある天体の一つ。
- (注2) コンパス……方位磁針。
- (注3) 太陽風プラズマ……太陽から吹き出された、電気を帯びた粒子。
- (注4) 暗黙裡に……口に出して言わないままに。
- (注5) クラウディオス・プトレマイオス……二世紀中頃のギリシアの天文学者・地理学者。
- (注6) ニコラウス・コペルニクス……十五世紀末から十六世紀初めのポーランドの天文学者。

(1) なくと文法上異なるものを、次の1〜4の——の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 本当かどうかわからない。
- 2 量が少なければ足す。
- 3 朝早く起きなくてもよい。
- 4 何も言えなかつた。

(2) []に入る最も適切な語を、次の1〜4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 上がる
- 2 高い
- 3 劣る
- 4 狭い

(3) 「可視化」できる とありますが、ある生徒が、この語句について次のようにまとめました。[]に入る最も適切な内容を、本文中から二十三字でそのまま抜き出して書きなさい。

北極圏や南極圏におけるオーロラや [] を見ること
で、地球や磁石の磁場が「見える」と言える。

(4) 天動説対地動説のような壮大な例 とありますが、ある生徒が、この例について次のようにまとめました。[]に入る適切な内容を、本文中から十字でそのまま抜き出して書きなさい。

どの説が「最良の説明」として受けいられるかは []
ことが不思議ではないと示す例である。

(5) ある学級で、「最良の説明への推論」について話し合いをしました。次は、渡辺さんのグループで話し合っている様子です。

A
B

Bに入る適切な内容を、Aは二十字以内で、Bは二十五字以内で、それぞれ書きなさい。

渡辺 「最良の説明への推論」について、特定の仮説をたてればある現象についての説明ができる状況においては、その仮説を受けいれるべきだと筆者は言っているね。

上田 そうだね。「特定の仮説をたてる」とは、例えば、

A
ことだよな。

寺島 Aと、周辺の宇宙空間内起こる直接観測できる現象に最良の説明があたえられるとあるね。

渡辺 なるほど。だから私たちは、知覚できないものが存在することを受けいられるんだね。

上田 つまり、「最良の説明への推論」によって、知覚だけがものの存在を信じる理由ではないと言えるんだね。

寺島 だから、私たちは、「時間」は B
ことができるんだね。

(6) この文章の内容について述べたものとして最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

1 ウイルスは目に見えなくても存在しているが、個人が信じるかどうかは説明できない。

2 三種類の視覚モードに特定すると、顕微鏡で見えれば存在するという立場に反論できる。

3 よりよい説明を適切に選ぶと、ゆで卵についての情報の正しさを確認できる。

4 天文学といった科学分野だけではなく日常生活でも、最良の説明は受けいれられている。

令和六年度県立高等学校入学者選抜学力検査

国語

時間50分

(8時45分～9時35分)

注意

- 1 問題の①は放送による検査です。問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は表紙を入れて八ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 3 受検番号は、検査開始後、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 4 机の上に置けるものは、受検票・鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・鉛筆削りです。
- 5 筆記用具の貸し借りはいけません。
- 6 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 7 印刷がはっきりしなくて読めないときや、筆記用具を落としたときなどは、だまって手をあげなさい。
- 8 「やめなさい」という合図ですぐに書くのをやめ、筆記用具を置きなさい。

答えの書き方

- 1 答えは、問題の指示に従って、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 2 答えは正しいに書きなさい。答えを書き直すときは、きれいに消してから書きなさい。
- 3 答えを漢字で書く場合は、楷書で書きなさい。

6 ある中学校で、外国語指導助手と生徒が、日本語の会話について話し合いをしました。次のやりとりを読んで、あとの(1)～(3)に従って文章を書きなさい。(10点)

日本語の会話では、最後まで聞いてはじめて肯定の文か否定の文かがわかるのですね。

そうですね。「図書館に行きます」と「図書館に行きません」のように、最後まで聞かないと意味がはっきりしないことがありますね。

こういう場合はどうかな。「強い風が…」と「強い風は…」を比べると、「強い風が…」だと「吹きます」が続き、「強い風は…」だと「吹きません」が続くと、予測できるのではないかな。助詞が「が」であるか「は」であるかの違いから、あとに続く言葉を予測しながら聞くことができますよね。

なるほど。教えてくれてありがとうございます。日本語って面白いですね。

- (1) 題名を書かないこと。
- (2) 二段落構成とし、それぞれの段落に次の内容を書くこと。
 - ・ 第一段落では、やりとりをもとに、日本語の会話について気づいたことを書くこと。
 - ・ 第二段落では、第一段落をふまえて、自分の意見を書くこと。
- (3) 百五十文字以上、二百字以内で書くこと。